

令和元年度 第1回花き技術向上研修を開催しました

「スプレーギク・小ぎく・一輪ぎく（7月咲き）の新品種の特性・栽培技術について」

1. 開催日時
令和元年7月4日（木曜日）10時00分～15時30分
2. 内容
出席者数：花き生産者など124名
（1）栽培概要説明（花きセンター職員） および品種の特徴説明（種苗会社担当者4社）
場所：切花2号温室（スプレーギク）
（2）栽培概要説明（花きセンター職員） および品種の特徴説明（種苗会社担当者2社）
場所：露地圃場（小ぎく、一輪ぎく）

スプレーギクの国産の挿し穂は幼若性が抜けにくく、外国産の挿し穂を定植する品種より開花が遅れることがあり、一部の品種では当日開花していない物もありましたが、研修会当日は8割以上の品種が開花した状態でした。露地ぎくは盆出荷向け品種が多く、当日は着蕾前後の生育ステージの品種が中心となりました。

各種苗会社担当者が品種特性を説明



露地圃場での研修

